

授業改善推進プラン<学年別>

学校名 練馬区立八坂中学校

2年	課題分析	授業改善策
国語	<ul style="list-style-type: none"> <li>文章読解が苦手であること理由の一つに文章に対する興味が薄いことがあげられる。</li> <li>家庭学習の習慣がついていないため、知識の定着が難しい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>文章に興味を持っていないことが原因で、読解練習が進まないことに対して、興味を持てるよう今社会で話題になっていることなどを取り上げたりしていく。</li> <li>家庭学習は回数は増えるが、どこからでも取り組めるよう、また内容は自力で取り組める程度の課題を続けていく。</li> </ul>
社会	<p>関心・意欲・態度については、社会的事象に関する関心を向上させる工夫が必要である。社会という教科の特性は、新たなものが次々と加えられていくことである。歴史は積み重なっていき、政治、経済は常に変化している。そのようなことに関心をもつために、教員が実物資料を多く用意したり、タイムリーなニュースを準備して、社会的事象に関して、関心を高めることを考えていきたい。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>地理的分野では地図帳や地球儀を活用し、歴史的分野では資料や実物など視覚的教材を多く活用することで、社会科がより身近な事象であることを認識させ、考察させる。</li> <li>小テスト、単元テストの実施</li> </ul>
数学	<ul style="list-style-type: none"> <li>【主体的な学び】自ら学ぶという意識が低い生徒がいる。家庭学習の習慣が定着できていない現状がある。</li> <li>【知識・技能】基礎的な概念や法則に基づく計算は定着しつつあるが、知識・技能を問題の解決に活用することに課題がある。</li> <li>【思考力・判断力・表現力】問題を解いて正解を得ることで満足してしまう現状がある。解決のための過程を振り返り、結果の意味を条件や仮定に即して考察することに課題がある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>【主体的な学び】自分の考え方だけでなく、他者の考え方に触れる機会をつくる。単元毎に学びを振り返る機会を設ける</li> <li>【知識・技能】問題を解く時間を多くつくる。計算演習において活用した基礎的な計算法則を確認する。</li> <li>【思考力・判断力・表現力】グループでの課題解決場面を設定し、話し合い、伝え合っていく中で課題を解決していく力を育む。</li> </ul>
理科	<p>文章を読み解く力が全体的に低く、問題の意味を理解することに課題がある。事象の結果から、推察する力が弱い。実験自体には興味関心はあるが、ただ実験を楽しむだけになってしまう。</p>	<p>授業の中でより興味を引きつける身近な自然事象の題材を扱い、やる気をさらに高める指導をする。基礎・基本事項を毎回の授業で繰り返し復習を図って基礎学力の定着に取り組んでいく。</p>
外国語	<ul style="list-style-type: none"> <li>【思考力・判断力・表現力】自分の考えを、英語を使い表現する力が不足している生徒が多くみられる。</li> <li>【知識・技能】1,2年の既習事項が定着していない生徒がいる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>【基礎力の定着】既習事項について意識させ、音読練習を中心に、基本文の定着を図る。また引き続き基本文の小テストを実施し、基礎力の定着につなげる。</li> </ul>
美術	<p>作品制作では、自由に発想し、創意工夫して計画的に進めることを定着させる。また、資料集の解説を通して美術の知識も深める。鑑賞では、プレゼンテーションも行い、コミュニケーション力を高める。</p>	<p>わかりやすく、誰でもできる内容からスタートさせ、スモールステップで学習を進める。作品制作では、完成後十分な鑑賞とプレゼンテーションの時間を確保する。常に授業規律が守られるように指導を継続していく。</p>
音楽	<p>楽曲に対して、甘受することはできるが、そこからどう表現につなげていくかという学習に慣れておらず、表現に生かし切れていない。</p>	<p>曲の雰囲気や歌詞の内容から、自分はどう感じ、強弱や声の出し方をどうしていくと良いのか考えさせる。また、表現につなげる学習を繰り返し行うことで、工夫や表現に生かせるようにしていく。</p>
保健体育	<p>男女仲が良く、協力して取り組むことができる。比較的理解力が高い生徒が多く、指導した内容を自分で理解して、行動に表すことができる。</p> <p>リーダーとして前に立って取り組める生徒が少ない。</p>	<p>チーム、グループ活動を積極的に行い、リーダーなどの各役割を与え、自分の仕事を全うし、主体性を高められるようにしていく。</p>
技術家庭	<ul style="list-style-type: none"> <li>【理解力の向上】(技術)理解力の差が大きく、作業の進め方に個々の力量に差が生じ、全体指導に影響を及ぼしている現状がある。</li> <li>【知識・技能の習得】(家庭)技術の習得と定着ができていないので、基礎・基本の定着を心掛けた学習内容にする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>【基礎的・基本的知識の充実】(技術)具体的な例を挙げながら説明し、作業においては安全で正しい工具の使い方を実演し、注意点を説明する。</li> <li>【個に応じた作業環境作り】(家庭)実践的・経験的な学習活動を多く取り入れられる工夫する。</li> </ul>